

北辰会青年部海外に一步を踏み出す

62期 千賀茂世

長く鳴かず飛ばずであった北辰会青年部ですが、先輩方が同期会や様々な会を運営され絆を深め研鑽に励み楽しく集っておられることに刺激され、遂に第一歩を踏み出しました。拡大幹事会の時に会うたび「若手が頑張らねばいけないね、先ず集まることから始め、「いずれは海外にも見聞を広めに行こう。」と夢を語っていました。

2024年5月の解散総会の話が決定的になった昨年、今こそ行動の時とばかり台湾に行くことに決定し、2023年11月21日から24日、憧れの台湾へ飛び出して来ました。人数はもう少し行けるかと思いましたが、なかなか時間や予算が捻出できず最終、51期河内さん、53期南さん、62期千賀の3人での渡航となりました。

台湾は隣の国でありながら、知っている知識が余りに乏しく…蒋介石、孫文、日本が統治した時代があった、台湾バナナとか…。知らないにも程があり、ガイドブックを見ても想像すらできない有り様でした。1人南さんだけが2度目とのことで、少し安心し相談しながら航空券ホテルの手配をしました。

関西から4時間弱ひとつ飛びで暖かい台北桃園空港着。新旧併せ持つ世界都市でした。ICや半導体で名を世界に轟かせる最新鋭の技術を集結した都市であると共に、昔からの人情味あふれる下町の風情が多く残る街。古からの貴重で栄華の証である書画や装飾品を数多く保存し、多くの人々が見ることの出来るようにされている懐の広さ深さも感じました。参加者それぞれの思いや個性があり、型にハマることのない台湾旅行でした。しかし、押さえるべきポイントとして、故宮博物院、九份、夜市、新幹線での高雄往復…等、感嘆、感動、感激し、楽しんで来ました。今度行く時には、もっと細やかに散策し、地元の方との触れ合いも楽しみたい。旅の誘惑が沢山詰まっている台湾だと感じました。早く2回目の台湾に行きたくてどきどきわくわく、心がときめいています。



故宮博物院にて



九份



故宮博物院の宝物



屋台で食べた鶏肉飯(シーローファン)



故宮博物院



九份の山の上の方から見た寺院



冷やしデザート